

■工学研究科 物質・化学系専攻 応用化学分野

○ディプロマ・ポリシー

【博士前期課程】

物質・化学系専攻応用化学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に修士(工学)の学位を授与する。

1. 化学に関する高度な専門知識・技術を広く学び、化学技術者として、研究課題を展開させる能力が身につけている。
2. 物質の構造、反応、性質を原子・分子レベルで理解するために必要な化学の基礎知識と基礎能力を習得している。
3. 化学技術者として必要な日本語能力および英語能力を身につけている。
4. 自ら遂行した研究の成果を論文にまとめるとともに、化学関連の学会・研究会等で発表・討論できる。
5. 化学が社会および自然におよぼす影響について把握でき、化学技術者として社会に貢献する使命感、高い倫理観のある判断力がある。

【博士後期課程】

物質・化学系専攻応用化学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に博士(工学)の学位を授与する。

1. 化学に関する高度な専門知識・技術を広く学び、化学技術者、研究者として、自立して研究課題を展開させ、自ら問題を設定し解決できる能力とともに、科学技術の発展と革新を担うことができる高い創造性と研究能力を身に付けている。
2. 物質の構造、反応、性質を原子・分子レベルで理解するために必要な化学の基礎知識と基礎能力を習得し、応用化学分野における研究・開発のための基礎的能力と柔軟な思考力を身に付けている。
3. 化学技術者、研究者として必要な日本語能力および英語能力を持ち、学術論文や技術資料の調査、分析、理解ができる。
4. 自ら遂行した研究の成果を論文にまとめるとともに、化学関連の国内外の学会・研究会等で発表・討論できる。

5. 化学だけでなく広く科学技術が、社会および自然におよぼす影響について把握でき、化学技術者、研究者として社会に貢献する使命感、高い倫理観のある判断力がある。